



## 国民無視の「独裁」政治

「特定秘密保護法案」に反対や慎重審議を求める声が高まる中、自民・公明両党は参議院で強行可決しました。民主主義をふみにじる暴挙は断じて許せません。

選挙の際に公約にも掲げていなかった施策を政権と党が専横的に取りまとめ、国民に対する説明責任も果たさないまま、国会内の数を頼んで成立させることは、民主主義の対極にある独裁の行為に等しく、主権者国民の負託に応える姿勢とは到底言えません。

国民の知る権利、表現の自由を奪う特定秘密保護法の廃止を引き続き求めていきましょう。

# 怒「秘密保護法」を 数の力をふりかざし 強行可決

## なにが秘密? それは秘密

### —国民の目・耳・口をふさぐ法案—

「特定秘密保護法案」は、審議をとおして国民には何が秘密かも秘密にされること、「特定秘密」の指定が無限定に拡大されること、一般国民が監視と処罰の対象にされること、国権の最高機関としての国会の地位を否定するものであることなどがあらためて明らかになりました。

3日には、「『知る権利』を奪い、『表現の自由』を脅かすことになりかねない」と映画人269人が反対声明。また、ノーベル賞受賞者の益川敏英名古屋大学特別教授などがよびかけた「特定秘密保護法案に反対する学者の会」は、たった5日間で2006人に達しました。

## 「秘密保護法」反対の各界の声

憲法改正、特に  
9条改正への道を  
ひた走っている  
野中広務さん(元自民党幹事長)

特高警察が出てきて、  
治安維持法ができていった  
戦前みたい  
ピーコさん(服飾評論家)

戦時中の雰囲気を  
思い出した  
菅原文太さん(俳優)

重大な人権侵害の  
内部告発が  
封殺されかねない  
土井香苗さん  
(ヒューマン・ライツ・ウォッチ  
日本代表、弁護士)

何かを秘密にすることより、  
みんなの目に触れるように  
することこそ、安全をもたらします  
益川敏英さん  
(ノーベル物理学賞受賞)

廃案にするしかない。  
国民は何も知らないまま、  
戦争状態に入る危険性もあるのです。  
言論の自由も死滅します。  
鳥越俊太郎さん(ジャーナリスト)